

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和6年8月16日(2024.8.16)

【公開番号】特開2024-101627(P2024-101627A)  
 【公開日】令和6年7月30日(2024.7.30)  
 【年通号数】公開公報(特許)2024-141  
 【出願番号】特願2023-5636(P2023-5636)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 1 B

A 6 3 F 5/04 6 9 9

【手続補正書】

【提出日】令和6年8月7日(2024.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0005】

本発明は、計数音を聞き取りやすくすることを目的とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の第1の実施態様に係る遊技機は、  
データで遊技価値を管理可能な遊技機であって、  
出音手段(例えば、スピーカー75X)と、  
遊技価値の計数を行うために操作される計数用操作手段(例えば、計数ボタン90X)と  
—  
を備え、

30

前記出音手段は、計数が行われる場合に計数音を出音可能であり、  
前記計数音は、遊技の進行に応じて発生する演出音と異なる音である  
ことを特徴とする。

また、前記演出音の出音中に、前記計数音が出音される場合に、前記演出音の音量低下又  
は前記演出音の出音中断の少なくともいずれか一方とすることが可能であることを特徴と  
する。

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この構成によれば、遊技の進行中やメニュー等の操作時に、転送が行われてしまったの  
ではないかとの遊技者に誤解を与えないようにすることができる。また、演出音の音量低下  
又は前記演出音の出音中断により、計数音を聞き取りやすくなる。

50

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、計数音を聞き取りやすくすることができる。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データで遊技価値を管理可能な遊技機であって、

出音手段と、

遊技価値の計数を行うために操作される計数用操作手段と、

を備え、

前記出音手段は、計数が行われる場合に計数音を出音可能であり、

前記計数音は、遊技の進行に応じて発生する演出音と異なる音である

20

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記演出音の出音中に、前記計数音が出音される場合に、前記演出音の音量低下又は前記

演出音の出音中断の少なくともいずれか一方とすることが可能であることを特徴とする請

求項 1 の遊技機。

30

40

50